

令和2年9月吉日

保護者の皆様へ

加賀市立庄小学校

校長 石田 和成

教育活動に関するアンケート（1学期）の結果について

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、1学期末には学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果をまとめましたので、お知らせいたします。



記

保護者アンケート結果 R2. 7月

1 そう思う 2 どちらかというと思う 3 どちらかというと思わない 4 そう思わない

・ 1, 2, 3, 4は、その選択肢を選んだ人数（人）

・ %は、1と2と答えた（肯定的評価）割合を示す

項目	内 容	1	2	3	4	R2. 7	R1. 7	H30. 7	H29. 7
①	お子さんは、規則正しい生活をしていますか。	50	50	8	1	92%	92%	94%	91%
②	お子さんとコミュニケーションをとるように心がけていますか。	62	46	1	0	99%	96%	99%	100%
③	学校便りやホームページ等で、学校の様子がよくわかりますか。	29	72	7	1	93%	91%	93%	88%
④	子どもたちは、落ち着いて授業に取り組んでいると思いますか。	33	66	8	2	91%	93%	91%	89%
⑤	学校は、事故がないように安全に配慮していると思いますか。	58	50	1	0	99%	97%	96%	99%
⑥	お子さんの良いところを、機会をとらえて伝えていると思いますか。	45	61	3	0	97%	95%	95%	96%
⑦	お子さんは、よくお手伝いをしてくれると思いますか。	31	49	25	4	73%	79%	76%	81%
⑧	家庭の中で、あいさつはできていると思いますか。	66	37	5	1	94%	96%	95%	99%

児童アンケート結果

R2. 7月

1 そう思う 2 どちらかというと思う 3 どちらかというと思わない 4 そう思わない

・ 1, 2, 3, 4 は、その選択肢を選んだ人数 (人) ・ 斜線はアンケートになかった項目

・ %は、1と2と答えた (肯定的評価) 割合を示す (⑨以外)

項目	内 容	1	2	3	4	5	6	R2. 7	R1. 7	H30. 7	H29. 7
①	学校に行くのは、楽しいと思いますか。	54	42	9	4	/	/	88%	87%	90%	89%
②	あなたは、授業中、自分の考えをいろいろな方法で表現するようにしていますか。	46	38	22	3	/	/	77%	80%	71%	83%
③	あなたは、まわりの人に親切にしたり、やさしくしていますか。	54	48	7	0	/	/	94%	86%	89%	89%
④	自分には、よいところがあると思いますか。	54	41	9	5	/	/	87%	85%	78%	82%
⑤	あなたの、平日(学校のある日)の勉強時間はだいたいどのくらいですか。(目安:学年×10分)	学年×10×2	学年×10以上	学年×10以下	学年×10×1/2	/	/	目安を超えた児童			
		27	48	24	10	/	/	69%	79%	81%	91%
⑥	あなたは、学校や家でよく本を読んでいますか。	22	34	29	24	/	/	51%	73%	58%	64%
⑦	あなたは、毎日だいたい(低:9時間 高:8時間)以上の睡眠がとれていますか。	64	25	12	8	/	/	82%	88%	76%	89%
⑧	あなたは、授業中や休み時間・放課後の活動で、コンピュータなどのICTをどのくらい活用しましたか。(4~6年生対象)	ほぼ毎日	週1回より多い	月1回より多い	月1回より少ない	/	/				
		4	18	16	18	/	/	39%			
⑨	あなたは、平日どれくらいの時間、テレビやネット動画を見たりコンピューターゲームをしたりしますか。(スマートフォンも含む。)	4H⇒	3⇒4H	2⇒3H	1⇒2H	⇒1H	使用なし	3時間以上			
		14	12	22	32	23	6	24%			
⑩	あなたは、家族や地域の人、先生、友達にすすんであいさつをしていますか。	63	30	15	1	/	/	85%	90%	85%	94%
⑪	あなたは、家で、すすんでお手伝いをしていますか。	26	47	27	9	/	/	67%	65%	73%	/



《集計結果について》

㊦は児童アンケート

① 「お子さんは、規則正しい生活をしていますか」について

(㊦ 「⑦睡眠時間」 「⑨メディアの時間」)

肯定的回答は92%でした。児童アンケートでは平日3時間以上テレビや動画の視聴・ゲームなどを行っている児童が24%となり、従来からの本校のゲームやテレビの時間が長いという課題に改善は見られません。それに伴い、就寝時刻が遅くなっている児童がいます。そのため、「睡眠時間確保」の肯定的回答が低くなっており、睡眠時間が十分にとれていない児童も見られます。授業中に集中できない子どもや活発に活動しない子ども、そして怠けがちになる子どもの原因は十分な睡眠がとれていないことだと言われます。今後も生活習慣チェックの取組により実態把握をし、実態に応じて学級指導や個別の指導を行っていきたいと考えています。ご家庭におかれましても、今後とも規則正しい生活習慣の確立へのご協力をお願い致します。

② 「お子さんとコミュニケーションをとるように心がけていますか」について

肯定的回答が99%でした。保護者の皆様が多忙な中でも工夫されて時間を作りお子さんと向き合っている結果だと思えます。お家の方とのコミュニケーションは子ども達にとっては何よりのエネルギーになり、様々なことに頑張る意欲につながるので、今後も継続していただきますようお願い致します。

③ 「学校だよりやホームページ等で、学校の様子がよくわかりますか」について

肯定的回答は93%でした。コロナウイルス感染症対策のため、1学期間は保護者の方に来校頂く機会が設けられなかったため、学校便りやホームページ、メール等で学校の様子や児童の活動などについて伝えてきました。今後も、こまめな情報発信に努めていきたいと考えております。

④ 「子どもたちは、落ち着いて授業に取り組んでいると思いますか」について

肯定的回答は91%ですが、「どちらかというと思わない」「思わない」と回答し、不安感をもたれている保護者の方もおられます。落ち着いた環境で学習に取り組めるよう、教職員で連携をとって支援にあたりるとともに、今後も学校全体でしっかりと学習規律が身に付くよう指導を繰り返していきたいと思えます。

⑤ 「学校は、事故がないように安全に配慮していると思いますか」について

肯定的回答が99%と、学校の取組にご理解をいただいていることがわかります。今後も危機対応力の向上を図るための研修や訓練の機会を設けるとともに、日頃から安全に対する意識を高く持ち、常に危機回避を念頭に置きながら、子ども達の指導と環境整備に努めていきたいと思えます。

⑥ 「お子さんの良いところを、機会をとらえて伝えていくと思いますか」について

(㊦ 「④自分にはよいところがあるか」)

97%の保護者の皆様から肯定的回答をいただき、ご家庭で温かい言葉かけがなされていることがわかります。学校でも様々な機会をとらえて子どもの頑張りやよさを認める声かけに努め、自己肯定感を高めていきたいと考えております。



自己肯定感とは・・・

自己を肯定する感情のこと。自分のことが好き、自分の可能性を信じられる気持ちのこと。短所も含めて自分自身を受け入れられること。

自己肯定感が高い子どもは、自分のことを大切に思い、周囲からも大事にされていると感じているため、失敗よりも成功を強く意識して前向きにチャレンジし、壁にぶつかっても立ち向かっていくことができる。また、人と積極的に関わり、他者や環境を受け入れ、良好な人間関係を築いていける傾向にある。

【自己肯定感を高めるコツ】

◇子どもの話に耳を傾けよう 子どもの気持ちを受け入れ、話をよく聞くことを心掛ける。

◇褒めよう 褒めるポイントは、成し遂げた結果より、その過程で努力したことを褒めること。

◇行動の悪いところを指摘しよう

叱るときには、「〇〇したのはよくないことだよ」と分かりやすく、行動の悪い所を指摘する。

◇スキンシップは子どもの自己肯定感を高めるのに最適！

スキンシップは言葉以上に子どもに気持ちを伝えることができる。スキンシップをとると、子どもに安心感を与え、愛されていることを伝える効果がある。

◇感謝の気持ちを言葉にしよう

「ありがとう」は、努力を認め、よい評価をされていることを実感できる言葉。子どもがお手伝いをしてくれた時、気遣ってくれた時、子どもが良いことをしたら、忘れずに感謝の気持ちを言葉で伝えることを習慣にしよう。 〈Home Study Nabi より〉

⑦ 「お子さんは、よくお手伝いをしてくれると思いますか」について

(㊦) 「㊩すすんでお手伝いをしている」

肯定的回答が73%、児童アンケートの「家で進んでお手伝いをしていますか」の肯定的回答も67%と、他の項目よりもやや低い数値となっています。学校での子ども達の様子を見ていますと、しっかりと掃除に取り組み、係や委員会活動でも、自分の仕事を真面目に行っている子が多く見られます。ご家庭におかれましても、家族の一員として、子どもたちが積極的に何らかの役割を担っているよう、よろしく願いいたします。

⑧ 「家庭の中で、あいさつはできていると思いますか」について

(㊦) 「㊩すすんであいさつをしている」

肯定的回答が94%と高く、児童アンケートにおいても「家族や地域の人、先生、友達に進んで挨拶をしている」の肯定的回答が85%でした。児童会の挨拶運動の取組や保護者の皆様や教職員からの声かけ等による成果が表れてきていると思われます。しかし、『自分から進んで 元気に』といった点では課題が見られますので、今後も挨拶の大切さを指導し、気持ちのよい挨拶ができる子ども達を育てていきたいと思ひます。

○保護者の方からいただきましたご意見に関しても、真摯に受け止め、改善できるよう努力していきます。

これからもどうぞよろしく願いいたします。